jamf

従業員選択プログラム

従業員選択制の普及率とその重要性に関する調査

調査結果

- 選択権授与者
- Mac または PC
- モバイル機器の選択
- テクノロジー選択における世代間の差
- ビジネスにとって従業員選択制は重要
- 従業員選択制の将来性

従業員選択制の考慮事項

- 従業員選択制を実施する際にITが考慮すべき事

最終的な教訓

- 効率性向上のための自由

2016年従業員選択プログラム調査

Jamf 従業員選択調査は、職場での従業員選択制に関連する傾向を明らかにします。従業員選択制とは、組織が従業員に仕事用のコンピュータ、ハードウェアやモバイル機器のブランドに選択肢を与えることです。デバイスには、雇用主が所有しているデバイスや個人デバイスの持込み(BYOD)、またはその両方を含むこともあります。2016年2月に実施されたこの調査では、世界中の大・中・小と、様々な規模の組織を代表する、480名の企業幹部、マネージャー、ITプロフェッショナルの協力により実施されました。

企業幹部への調査

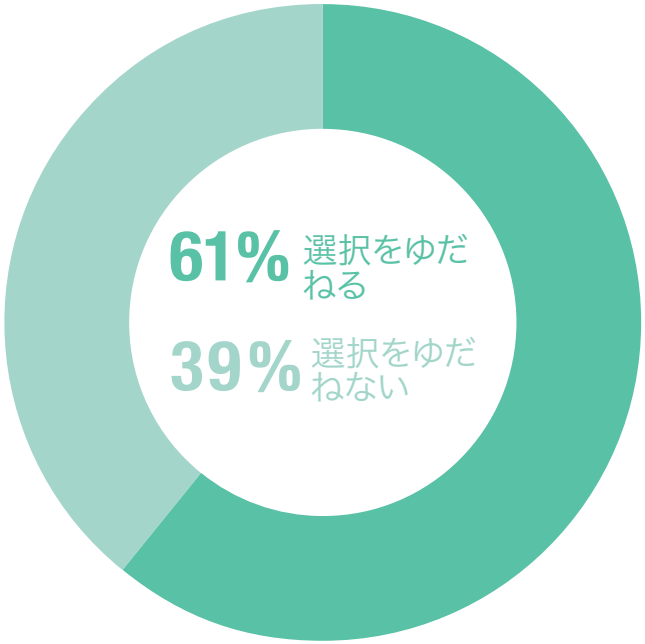
組織の規模に関わらず、企業は以前にも増して、テクノロジー機器の選択を従業員にゆだねるようになっています。中でも、その使いやすさから、Apple製デバイスが推奨デバイスの筆頭に上がっています。

デバイス選択の傾向は、年齢によって異なります。55歳以上の人はWindowsが使いやすいと感じている一方で、18歳から54歳までのほとんどがAppleを選択します。

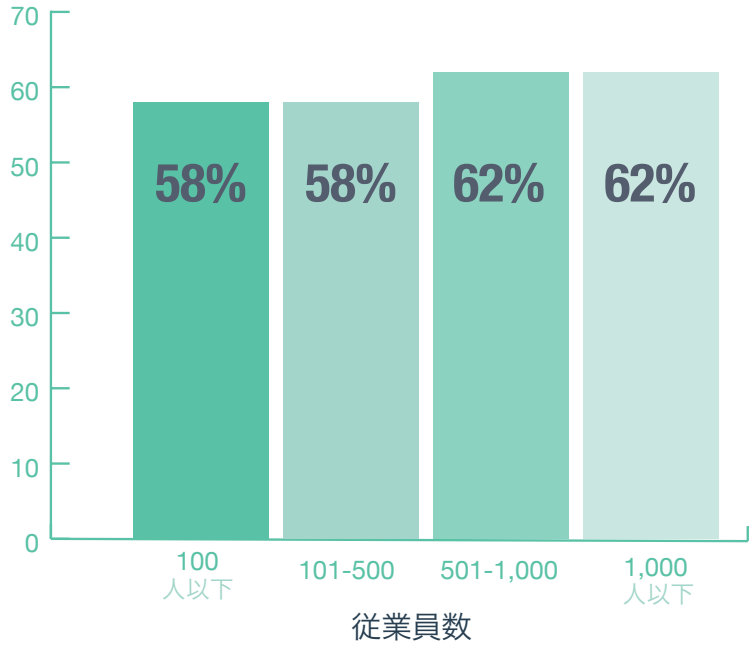
調査に協力頂いた方々の大半が、従業員選択制はビジネスの標準になるべきだと答えており、単なる一過性の流行ではありません。

選択権授与者

大多数の企業が、従業員にコンピュータやモバイル機器の選択をゆだねており、選択プログラムは現代ビジネスシーンでの常識になりつつあることが例証されています。



選択をゆだねている企業の比率

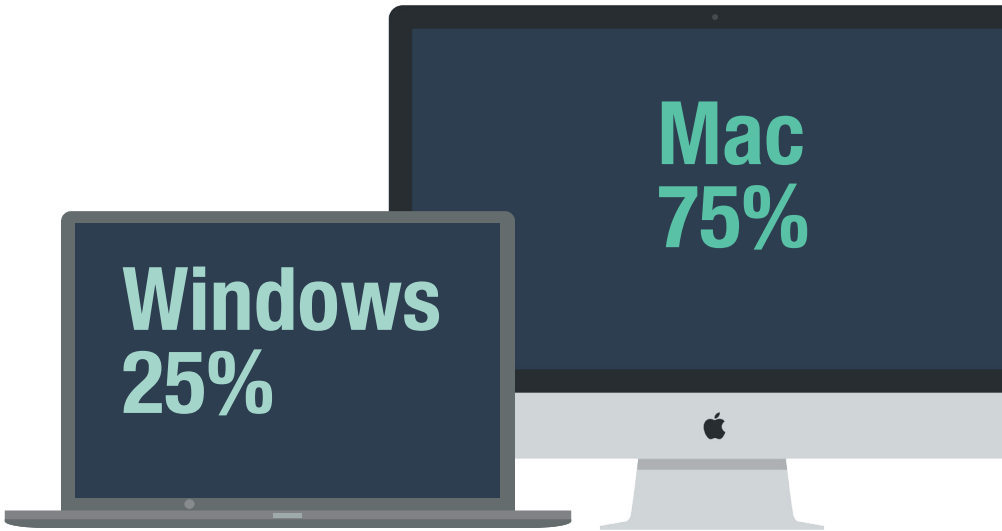


様々な規模の企業

規模に関わらず、世界各地の組織は従業員本人が最も使いやすいと感じるコンピュータやモバイル機器を提供しており、それにより業務の効率性が向上しています。

Mac それとも PC?

4人中3人の従業員が、WindowsではなくMacを選択しており、Apple製品の採用率が企業間で増加しているという報告を裏付けています。



なぜ Mac が選ばれるのか?

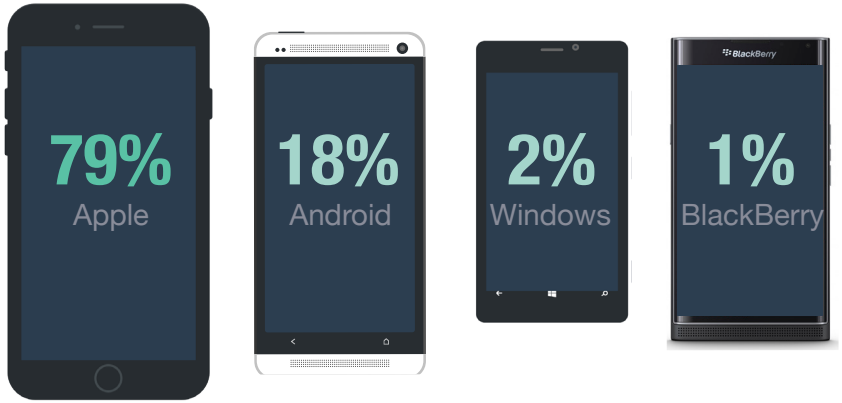
2015年に実施された Jamf Apple 傾向調査と同様に、従業員が Mac を選択する理由には、使いやすさ、効率を上げるのに必要なアプリケーションが利用可能である事、個人用データや仕事用データの保護の点で安全性の高いコンピュータであることなどがあります。

回答者の 29% が指定した「その他」の理由には、信用性、スタイリッシュさ、そして上記に挙げた点すべて、という回答が含まれます。

調査を見る

モバイル機器の選択

従業員は、自宅で使っているのと同じ使いやすさを職場でも求めており、iOS がモバイルオペレーティングシステムとして従業員に選ばれている理由はここにあります。5 人中 4 人の従業員が Apple 製品を選択しているにもかかわらず、iOS プラットフォームを提供しないとすれば、それは雇用主の職務怠慢でしょう。



なぜ iOS が選ばれるのか？

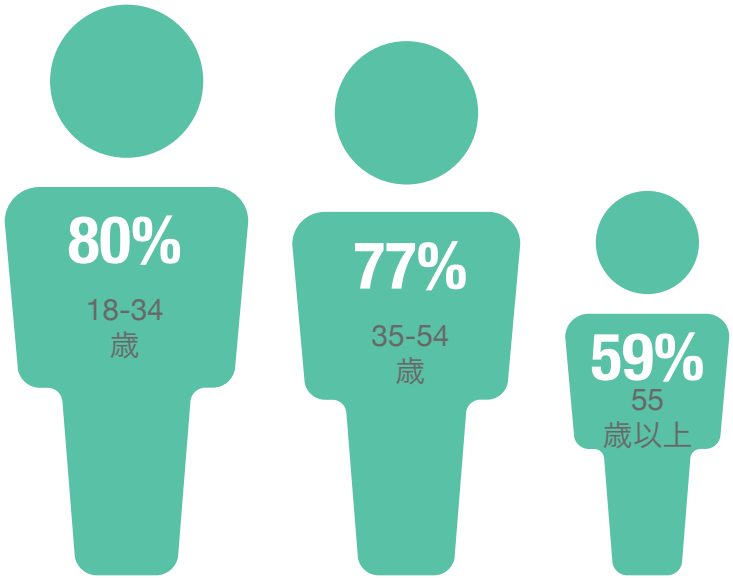
Mac と同様、2015 年に実施された Jamf Apple 傾向調査と同様、従業員が iOS を選択する理由には、使いやすさ、効率を上げるのに必要なアプリケーションが利用可能である事、他のプラットフォームに比べてより安全性が高いことなどがあります。

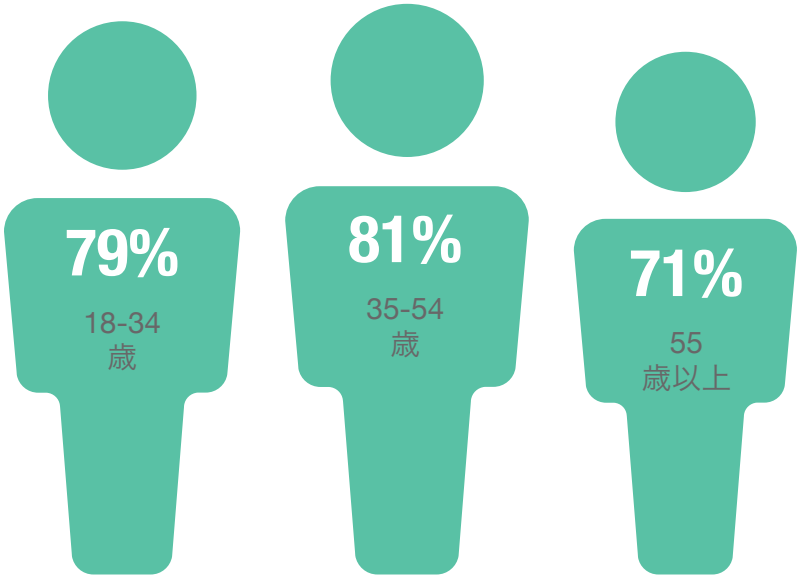
調査を見る

世代間の差：Mac を選ぶ世代とは

調査結果によれば、55 歳以上の従業員は Windows を使いやすいと感じるのに対し、18 歳から 54 歳は Macを好みます。

これは、全従業員の中で新世代の占める割合が増加するとともに、Mac の成長が続くことを指示しています。





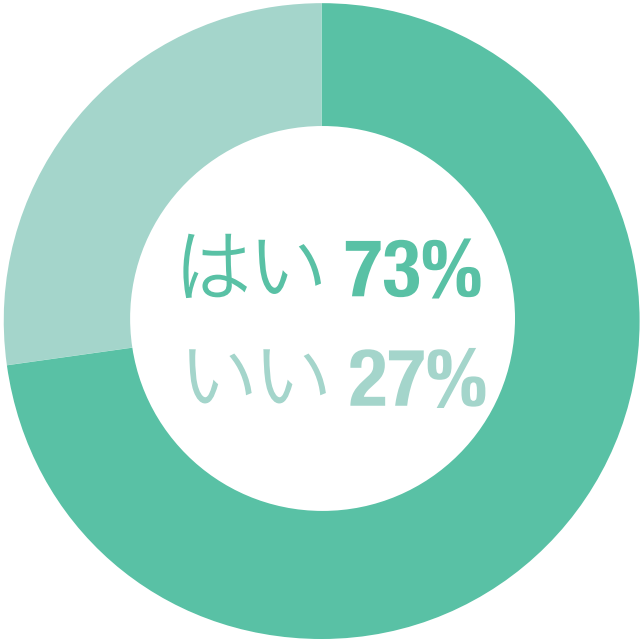
世代間の差：iOS を選ぶ世代は？

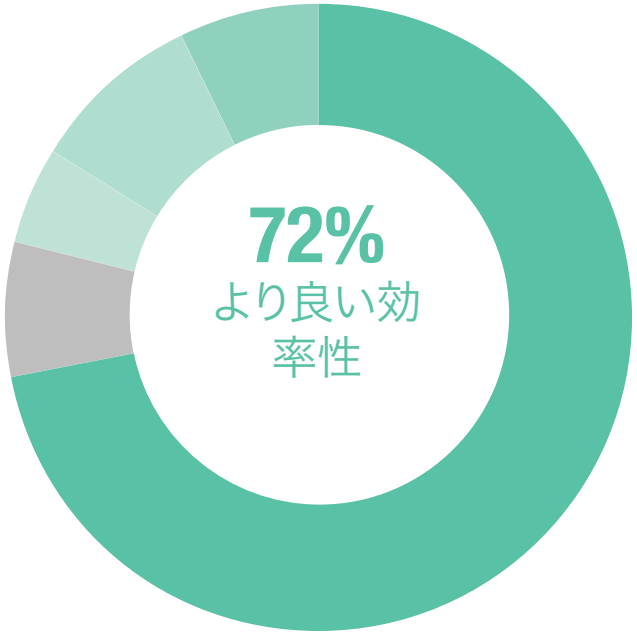
モバイル機器の選択に関しては、従業員の年齢はあまり関係がなく、iOS は非常に直観的で、全世代の従業員に好まれています。

調査結果

選択プログラムはビジネスにとって重要か？

大多数の従業員が、選択プログラムは組織を良い状態にするのに重要であると考えています。





選択の価値

従業員は自分が望むテクノロジーが与えられると、それに感謝し、効率的に働きながらクリエイティブに仕事をこなすようになるため、雇用主にとっても利点があります。従業員の満足度や効率性により、組織はより優れた能力を持つ人材を確保でき、企業目標も達成できます。

7%
雇用主は意見を尊重してくれる

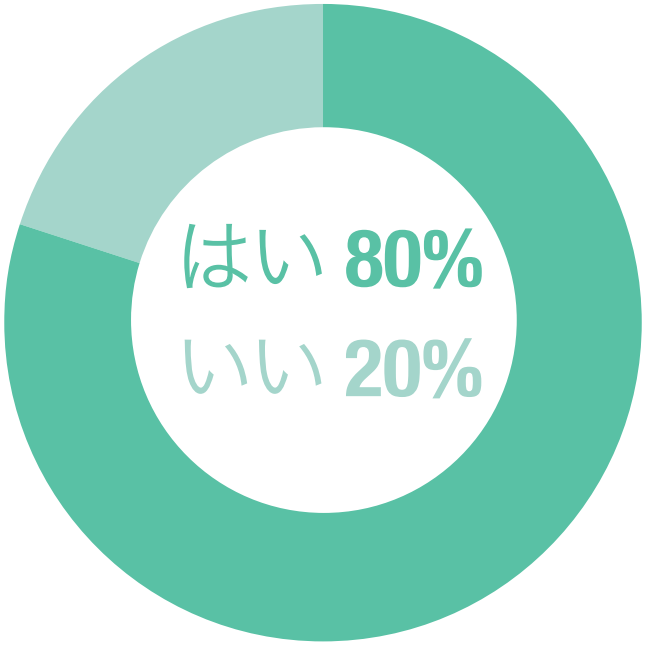
7%
選択プログラムを評価していない

5%
自分はもっとクリエイティブである

9%
その他

選択プログラムの将来性

調査に協力いただいた方々の 80% は、テクノロジー選択を従業員にゆだねることは単なる流行に終わらせることなく、ビジネスにおける標準処理手順にするべきだと考えています。



70%
従業員に選択権を与える

30%
従業員に何らかのコンピュータ/デバイスを与える

選択肢が与えられていない従業員の考え

デバイスの選択肢を与えられていない従業員のうち 4 人に 3 人は、所属している組織が、テクノロジー文化の変化に順応し、自分が業務において十分に力を発揮できるようなデバイスを提供してほしいと考えています。

この発見は、今後数年の間に従業員選択制の成長が期待できることを指し示しています。

従業員選択プログラムの考慮事項

データが示すように、従業員選択プログラムはシリコンバレーの先進事例や、ユニークな代理店だけのものではありません。

企業幹部、IT、そして従業員も同じく、業務をする上で最も使いやすいと感じるデバイスの使用を追及しており、ビジネスプラクティスに影響を及ぼしています。良く知られている例としては、IBM が 2015 年に Mac@IBM プログラムを実行し、仕事用デバイスとして PC と Mac のどちらが良いか従業員に選択肢を与えました。

しかし、選択は単に Mac 対 PC 論のような単純なものではありません。今日、 今まで以上に人材の流動性があり、従業員パフォーマンス向上のためにどのデバイスをサポートするのかを落ち着いて考える必要があります。これらの事柄を考えると、どこから始めるか、従業員にデバイス選択をゆだねる際に何を考慮すべきか、組織にとって不明な点が残ります。

Mac@IBM Program

選択プログラムの実行

検討段階から実行段階に移すには、従業員選択プログラムの専門家と話し合い、企業、 またIT部門が従業員選択プログラムを実施する前に知っておくべきことは何かを見定めましょう。

1 アプリ互換性

2 対応モデル

3 ハードウェアコスト

4 サポート&ユーザートレーニング

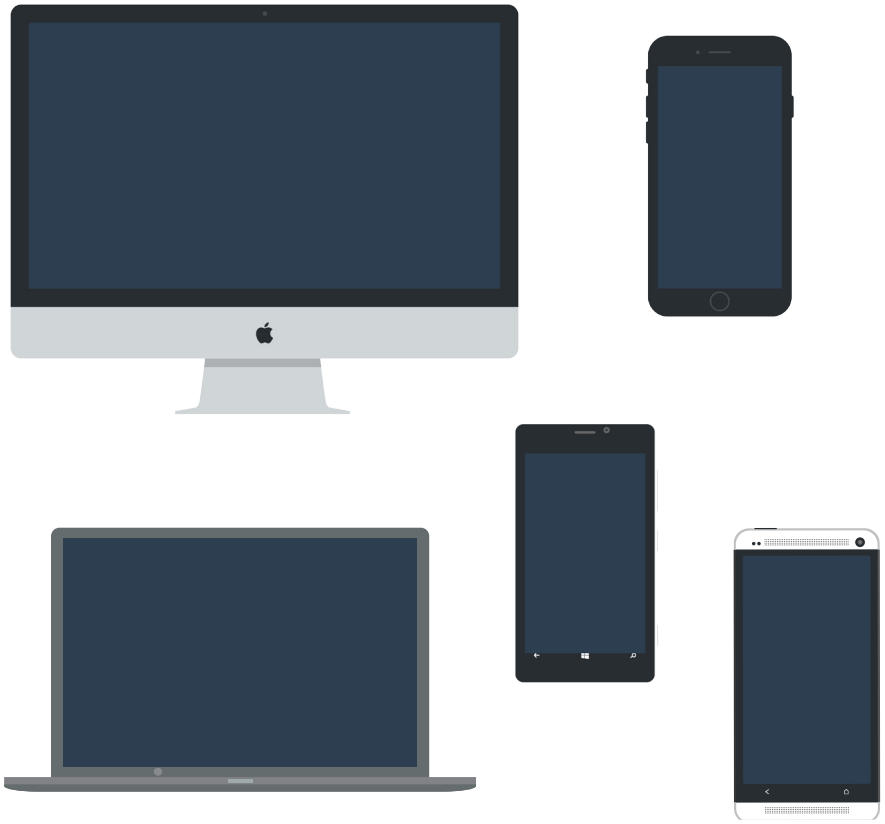
5 セキュリティー基準

アプリ互換性

Mac、iOS、Windows、Android のどれをサポートしているかにかかわりなく、特定のプラットフォームで機能しやすい（あるいは特定のプラットフォームでのみ機能する）、ソフトウェアやアプリがいくつかあります。ほとんどのソフトウェアプロバイダが、クロスプラットフォームバージョンを提供しているとはいえ、すべてのプログラムに当てはまるわけではありません。

IT 部門や雇用主が、どのアプリやツールがそれぞれのプラットフォームで利用できるのかを十分に理解していなければ、従業員に選択をゆだねるのが困難になります。
日常の業務に欠かせないアプリに関しては、従業員たちが作業に支障をきたしている事に気づくのが遅くなると、組織全体の生産性に支障が出ます。このような状況を避けるには、従業員が活用しているリソースをリストにまとめ、そのリソースがある特定のプラットフォームで利用できない場合、少なくともそれに代わるようなアプリが利用可能であるかどうかを確認する必要があります。

従業員選択制の実行が間近になれば、期待どおりにすべてのツールが機能するかを確認するためにデバイスのテスト環境をセットアップします。特定のデバイスで、どの生産性リソースとアプリが利用可能になるのかを従業員に知らせます。



対応モデル

提供されるテクノロジーにかかわらず、お客様とその IT担当者がデバイスを導入し、保護し、在庫管理するための管理プラットフォームを選択する必要があります。管理ツールの環境が整っていると、デバイスは一貫した方法で構成され、だれも IT ポリシーを回避することがないよう確認しながら、マネジメントに直接登録されます。理想的に、最善の管理ソリューションが実行されます。例えば、WindowsやAndroidに対しては InTune での System Center Configuration Manager (SCCM) が最適である一方で、Mac と iOS プラットフォームのためには Jamf Pro が優れたソリューションです。このアプローチにより、ツールの価値を最大限に引き出し、ユーザーエクスペリエンスを高めます。

インフラに問題がある場合、クラウド内の管理プラットフォームのホスティングをご検討ください。クラウドソリューションは、国中または世界中にいる従業員へのファイルと資産取得を手助けします。組織とその管理ソリューションは、環境内にあるデバイスのインベントリ、デプロイ、保護を行い、クラウドサービスはインフラを整えます。これで、管理ソリューションのホスティングにかかる時間とコストを節約できます。

ハードウェアコスト

Apple 製品をサポートし従業員に提供するにはコストがかかりすぎるという通説を IBM はたったの一回で覆しました。IBM の Fletcher Previn 氏が「我々が購入した全ての Mac は利益を上げ、コストを節約している」とまで言っているように、Mac@IBM プログラムの一環として、IBM は展開されたすべての Mac おいて膨大な利益を見据えています。Apple CFO の Luca Maestri 氏によると、これまでの PC の代わりとして選ばれた Mac すべてにおいて、270 ドルのコストを節約できたことを IBM は報告しています。この節約は、サポートのコストを削減したことと、より良い残余価値の結果です。IBM によれば、PC ユーザーの 40% がヘルプデスクに援助を求めて電話するのに対し、Mac ユーザーはわずか 5% であったと報告しています。ここから、導入に先立って必要となるコストは確かに考慮に入れるべきものの、選択をゆだねることの本当の尺度となる所有権と従業員満足度のコストをこれですべて賄えることがわかります。

サポート&ユーザートレーニング

IT 部門は頻繁に訓練を受けて使い慣れたプラットフォームを他のプラットフォームよりも使いやすく感じます。そのため、従業員選択制を成功させるには、ITチームが物事をよく把握し、組織の提供するプラット フォームの導入とサポートに慣れている、という2つの点が鍵になります。管理ソリューションを導入するときは、プロバイダがお客様の IT スタッフにトレーニングを施せるかどうかを確かめてください。タイムラインを設定し、それに従って全員ができるだけ早く必要な分野におけるトレーニングを受けて技術を習得できるようにしてください。

従業員にも同じ原則が当てはまります。たいていの人は、今のプラットフォームを他のプラットフォームよりも使いやすく感じるものです。選択がゆだねられると、すでに自分が知っている物にこだわる人もいますが、その一方で、より良いと思える物を試してみようとする人もいます。スムーズな移行を行うためには、従業員が基本的に古いデバイスと新しいデバイスの両方にアクセスできる期間を考慮してください。これにより、従業員は新しいデバイスに自信を持ち、学習曲線を乗り越えている間に発生するダウンタイムを防ぐことができます。新しいデバイスのトレーニングに関しては、デバイス情報へのアクセスと、会社 Wiki サイト等の知識を共有するためのフォーラムでユーザーを強化してください。

セキュリティー基準

デバイスとデータを守るための最善の方法は、お使いのコンピュータやモバイル機器を最新のソフトウェアに確実にアップデートすることです。ソフトウェアアップデートをユーザーの手にまかせておくと、脆弱性を引き起こしかねません。従業員の一部はアップデートの方法を十分に理解しており迅速に行いますが、そうでない従業員もおり、悪意ある攻撃にさらされかねない状態でにまでデバイスやデータを放置しています。

デバイス管理プロバイダと話し合って、デバイスやソフトウェアを最新に維持できるようシステムを整備し、お客様の組織が安全で法律を遵守した状態に保てるようにしましょう。

効率性向上のための自由

従業員選択プログラムの波は、ついに世界中のあらゆる組織に押し寄せています。方針決定を行う企業幹部や IT リーダーが、テクノロジーを決定する権利への多大な需要に取り組む時が来ています。

使いやすいと認識されている、必要なアプリが取得できる等にかかわらず、自らが選んだデバイスを使用する時、従業員の効率性、創造性、満足度が向上します。
その結果、組織は質が高く量も豊富な仕事を遂行でき、スタッフからの称賛も勝ち得ます。

選択プログラムを実行するための正しい段階を踏むことにより、お客様のビジネスはこの傾向の先端を行き、ビジネスの方向を先導できます。

選択プログラムを今すぐ始めましょう

jamf
www.jamf.com/ja